

シンボルマーク決定

アジア交流
プロジェクト 県庁でお披露目

静岡空港開港を観光客拡大による地域活性化につなげようと立ち上げられた「アジア文化交流プロジェクト」のシンボルマークが決定し、プロジェクトの実行委員会長を務める県商工会議所連合会の松浦康男会長らが七日、県庁に石川嘉延知事を訪ね、マークを披露した。

応募二十点のうち、デザイナーの桂由美さんら

実行委員による選考を経て採用されたのは静岡市内の女性グラフィックデザイナーの作品。リボン状の赤い線で富士山をデザインした。松浦会長は「優しさを感じさせる赤いリボンが特徴」などと話し、石川知事は「スツキリしたデザインでいいですね」と評価した。

同プロジェクトは中核事業として来年四月十一日、静岡市駿河区の



富士山をイメージしたシンボルマークを手にする石川知事(左)と松浦会長(右)＝県庁で

グランシップで「アジアプライダルサミット2009」を開催。中国や韓

国、インドネシアなど八カ国からプライダル関係者が参加し、各国の婚礼包装や儀式などを紹介する。(諏訪慧)